

教科	理科	科目	化学基礎
年次	1年次	単位数	2
教科書	化学基礎（数研出版）		
副教材	リードライトノート化学基礎（数研出版）		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を身に着ける。 ・化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を身に着ける。 		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初(4月) ～ 前期中間考査(6 月中旬)	p19～ p37～	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の構成 ・物質の構成粒子 	物質の構成粒子についての観察・実験などを通して、物質と化学結合を理解する。	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
夏季休業中	問題集・スタディサプリ課題配信			
～前期期末考査 (9月中旬)	p53～	<ul style="list-style-type: none"> ・粒子の結合 	・粒子の結合の種類とその原理についてする。	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
～後期中間考査 (11月下旬)	p83～ p112～	<ul style="list-style-type: none"> ・物質量と化学反応式 ・酸と塩基の反応「酸と塩基の定義・分類」 	・物質量と化学反応式について、物質量・化学反応式の基本的な概念や原理・法則などを理解する。	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
冬季休業中	問題集・スタディサプリ課題配信			
～後期期末考査 (2月中旬)	p112～ p136～	<ul style="list-style-type: none"> ・酸と塩基の反応「中和反応」 ・酸化還元反応「酸化剤と還元剤」 	・酸化還元反応について、基本的な概念や原理・法則などを理解する。	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
～年度末	p136～	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元反応「電池」 	・酸化還元反応について、基本的な概念や原理・法則などを理解する。	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）

教科	理科	科目	科学と人間生活
年次	2年次・専情	単位数	2
教科書	科学と人間生活（東京書籍）		
副教材	ニューサポート 科学と人間生活（東京書籍）		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解する ・科学的な見方や考え方を身につけ、科学に対する興味・関心を高める。 		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初(4月) ～ 前期中間考査(6 月中旬)	p14～ p66～	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物とその利用 ・ヒトの生命現象 ・材料とその応用 ・医療と食品 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の生育、動物の行動及びヒトの視覚と光とのかかわりについて理解する 身近な材料であるプラスチックや金属の種類、性質及び用途と資源の再利用について理解する。 	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
夏季休業中	問題集			
～前期期末考査 (9月中旬)	p116～	<ul style="list-style-type: none"> ・光の性質とその利用 ・熱の性質とその利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解する。熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について理解する。 	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
～後期中間考査 (11月下旬)	p158～	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽と地球 ・自然景観と自然災害 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽や月などの身近に見られる天体と人間生活とのかかわり、太陽系における地球について理解する。 	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
冬季休業中	ニューサポート問題集・探究活動			
～後期期末考査 (2月中旬)	探究活動 ワークシ ート	探究活動『身近な疑問』 を題材にした作品制作	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通してあげてきた身近な疑問を題材に個別研究を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究姿勢（主） ・ワークシート（知・技） ・プレゼン発表（思判表）
～年度末		・総まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の内容をふりかえり、全体像を把握する。 	

教科	理科	科目	化学
年次	2年次・文理	単位数	2
教科書	新編 化学 (数研出版)		
副教材	化学研究ノート (博洋社)		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・化学現象に関する知識を定着させる。 ・化学現象を理解するとともに、計算力・考察力を身につける。 		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初～ 前期中間考査		・化学基礎の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・化学の基本的な概念を理解できる。 ・物質質量、中和、酸化還元に関する基本的な計算ができる。 	日々の演習 課題 定期考査
～前期期末考査	p 6～ p 23	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の構造 ・元素の周期表と性質 ・イオン結合／共有結合／金属結合 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の構造を図を使って説明できる。 ・電気陰性度や結合の種類を使って物質の性質を予測できる。 	日々の演習 課題 定期考査
～後期中間考査	p 24～ p 47	<ul style="list-style-type: none"> ・気体の状態方程式(ボイル・シャルルの法則) ・蒸気圧・沸点・融点・溶解度 ・分子間力と状態の違い 	<ul style="list-style-type: none"> ・気体の状態変化をグラフで理解できる。 ・沸点・融点の違いを分子間力から説明できる。 	日々の演習 課題 定期考査
～年度末	p 48～ p 69	<ul style="list-style-type: none"> ・溶液の性質(質量パーセント・モル濃度) ・希薄溶液の性質 ・コロイド溶液 	<ul style="list-style-type: none"> ・溶液の濃度の基本的計算ができる。 ・希薄溶液の分野に関する基本的計算ができる。 ・コロイド溶液の定義と性質を理解できる。 	日々の演習 課題 定期考査

教科	理科	科目	物理基礎
年次	2年次・文理	単位数	2
教科書	新編物理基礎（数研出版）		
副教材	新編物理基礎準拠サポートノート（数研出版）		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 		

期間	教科書範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初（4月）～ 前期中間考査（6月中旬）	p10～ p41～	【力学】 ・運動の表し方 ・さまざまな力とのはたらき	・身近な物理現象や物体にはたらく力について理解し、表現できるようになる。	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
前期中間考査後～ 夏季休業	P74～	【力学】 ・エネルギーと仕事	・運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解する。	
夏季休業中	スタディサプリ課題配信			
～前期期末考査（9月中旬）	P83～	【力学】 ・力学的エネルギーの保存	・力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解する。	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
～後期中間考査（11月下旬）	p96～ p114～	【熱】 ・温度と熱 ・熱と仕事 【波】 ・波の性質 ・音の性質	・熱の移動及び熱と仕事の変換について理解する。 ・波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解する。	
後期中間考査後～ 冬季休業	P146～	【波】 ・弦の固有振動 ・気柱の固有振動 【電磁気】 ・電流と電圧 ・電気とエネルギー	・気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解する。 ・物質によって抵抗率が異なることを理解する。	
冬季休業中	スタディサプリ課題配信			
～後期期末考査（2月中旬）	p191～	【電磁気】 ・電磁波、電磁誘導 ・エネルギーの利用	・交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解する。	

教科	理科	科目	生物基礎
年次	2年次・文理	単位数	2
教科書	新編 生物基礎（東京書籍）		
副教材	新編アクセス 生物基礎（浜島書店）		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生物や生物現象に関する知識を身につける。 ・生物や生物現象に関する知識を応用し、考察する力を身につける。 ・科学的に探究しようとする態度を養う。 		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初～ 前期中間考査	p 8～ p 39	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性と共通性 ・細胞 ・代謝 	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞、代謝に関する生物用語が答えられるようになる。 ・酵素の実験についての考察ができるようになる。 	課題 定期考査
～前期期末考査	p 42～ p 73	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子 ・遺伝子とタンパク質の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子に関する生物用語が答えられるようになる。 ・遺伝子発現のしくみが答えられるようになる。 	課題 定期考査
～後期中間考査	p 76～ p 119	<ul style="list-style-type: none"> ・恒常性 ・自律神経系とホルモン ・免疫 	<ul style="list-style-type: none"> ・恒常性、免疫に関する生物用語が答えられるようになる。 ・自律神経系とホルモンによる恒常性のしくみが答えられるようになる。 ・免疫のしくみが答えられるようになる。 	課題 定期考査
～後期期末考査	p 122 ～ p 143	<ul style="list-style-type: none"> ・植生と遷移 ・世界のバイオーム ・日本のバイオーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオームの名称が答えられるようになる。 ・遷移のしくみが答えられるようになる。 	課題 定期考査
～年度末	p 144 ～ p 167	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系 ・生態系のバランス 	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系に関する生物用語が答えられるようになる。 ・キーストーン種に関する実験について考察できるようになる。 	課題 定期考査

教科	理科	科目	生物基礎
年次	3年次・専情	単位数	2
教科書	新編 生物基礎（東京書籍）		
副教材	ベストフィット生物基礎（浜島書店）		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生物や生物現象に関する知識を身につける。 ・生物や生物現象に関する知識を応用し、考察する力を身につける。 ・科学的に探究しようとする態度を養う。 		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初～ 前期中間考査	p 8～ p 39	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性と共通性 ・細胞 ・代謝 	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞、代謝に関する生物用語が答えられるようになる。 ・酵素の実験についての考察ができるようになる。 	課題 定期考査
～前期期末考査	p 42～ p 73	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子 ・遺伝子とタンパク質の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子に関する生物用語が答えられるようになる。 ・遺伝子発現のしくみが答えられるようになる。 	課題 定期考査
～後期中間考査	p 76～ p 119	<ul style="list-style-type: none"> ・恒常性 ・自律神経系とホルモン ・免疫 	<ul style="list-style-type: none"> ・恒常性、免疫に関する生物用語が答えられるようになる。 ・自律神経系とホルモンによる恒常性のしくみが答えられるようになる。 ・免疫のしくみが答えられるようになる。 	課題 定期考査
～後期期末考査	p 122 ～ p 143	<ul style="list-style-type: none"> ・植生と遷移 ・世界のバイオーム ・日本のバイオーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオームの名称が答えられるようになる。 ・遷移のしくみが答えられるようになる。 	課題 定期考査
～年度末	p 144 ～ p 167	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系 ・生態系のバランス 	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系に関する生物用語が答えられるようになる。 ・キーストーン種に関する実験について考察できるようになる。 	課題 定期考査

教科	理科	科目	物理
年次	3年次・文理	単位数	4
教科書	高等学校 総合物理（数研出版）		
副教材	新課程リード α 物理基礎・物理（数研出版）		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初(4月)～ 前期中間考査(6月中旬)	p40～ p98～ p140～ p162～ p204～	<ul style="list-style-type: none"> ・物理基礎（力学分野）の振り返り ・剛体にはたらく力のつりあい ・運動量と力積 ・円運動と万有引力 ・熱と物質 	<ul style="list-style-type: none"> ・物理基礎（力学分野）の関係式や物理量の定義を把握・新たに登場する物理量の定義を理解し、関係式を立て必要な値を求めることができる。 ・熱分野の全体像の把握 	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
前期中間考査後 ～夏季休業	p8～ ※総合物 理2開始	<ul style="list-style-type: none"> ・波の性質 ・音 ・光 	<ul style="list-style-type: none"> ・波動分野の全体像の把握 ・定義の正しい理解 ・関係式を立て必要な値を求める力を身に着ける 	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
夏季休業中	共通テスト過去問で実践演習・スタディサプリ課題配信			
～前期期末考査 (9月中旬)	p116～	<ul style="list-style-type: none"> ・電場 ・電流 ・電流と磁場 ・電磁誘導と電磁波 	<ul style="list-style-type: none"> ・電磁気分野の全体像把握 ・定義の正しい理解 ・関係式を立て必要な値を求める力を身に着ける 	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
～後期中間考査 (11月下旬)	p260～	<ul style="list-style-type: none"> ・電子と光 ・原子と原子核 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子分野の全体像の把握 ・定義の正しい理解 	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
後期中間考査後 ～冬季休業		・共通テスト対策まとめ	・物理の全体像を把握し、思考することができる。	
冬季休業中	共通テスト過去問で実践演習・スタディサプリ課題配信			
～年度末		<ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト直前対策 ・進路希望別の個別対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・物理の全体像を把握し、思考することができる。 ・応用問題等へ対応できる記述力を養う。 	

教科	理科	科目	生物
年次	3年次・文理	単位数	4
教科書	生物（東京書籍）		
副教材	セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生物や生物現象に関する知識を身につける。 ・生物や生物現象に関する知識を応用し、考察する力を身につける。 ・科学的に探究しようとする態度を養う。 		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初～ 前期中間考査	p.8～83	生物の進化	生命の起源や進化の仕組み、系統を理解し、観察・実験や数学的なアプローチから、進化について考え表現することができる。	課題 定期考査
～前期期末考査	p.86～ 157	生命現象と物質	生命現象と物質 細胞・分子の構成や代謝の仕組みを理解し、体内での化学反応を反応物と生成物を明らかにしながら説明することができる。	課題 定期考査
～後期中間考査	p.160～ 259	遺伝情報の発現と調節	遺伝情報の発現と発生 遺伝情報の発現や発生、遺伝子技術を理解し、その仕組みについて、現象を明らかにし説明することができる。	課題 定期考査
～後期期末考査	p.262～ 365	生物の環境応答	生物の環境応答 動植物の環境応答や行動の仕組みを理解し、実験や観察の結果を基にして、その仕組みを説明することができる。	課題 定期考査
～年度末	p.368～ 443	生態と環境	生態と環境 生態系の物質生産や循環、人間生活との関わりを理解し、地球規模での生物の相互関係を見据えてグラフや図を活用し説明することができる。	課題 定期考査

教科	理科	科目	化学
年次	3年次・文理	単位数	3
教科書	新編 化学 (数研出版)		
副教材	化学研究ノート (博洋社)		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・化学現象に関する知識を定着させる。 ・化学現象を理解するとともに、計算力・考察力を身につける。 		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初～ 前期中間考査	p 7 1 ~ p 1 0 3	<ul style="list-style-type: none"> ・エンタルピー ・ヘスの法則 ・反応熱の計算 ・電気分解と工業的利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンタルピー変化からエネルギーの流れを理解できる。 ・ヘスの法則 (生成熱、燃焼熱) を使った計算ができる。 ・電池反応の電子の流れを理解できる。 ・電気分解の生成物を予測できる。 	日々の演習 課題 定期考査
～前期期末考査	p 1 0 4 ～ p 1 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・反応速度の因子 (温度・濃度・触媒) ・平衡定数と反応の進行 ・エネルギー図 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフから反応速度を読み取ることができる。 ・触媒、温度による平衡の変化を説明できる。 	日々の演習 課題 定期考査
～後期中間考査	p 1 4 6 ～ p 2 0 3	<ul style="list-style-type: none"> ・無機元素 (H、O、N、Cl、Na、Ca、Al、Fe、Cu など) ・気体の製法・確認・反応性 ・沈殿反応 	<ul style="list-style-type: none"> ・各元素の性質・製法・反応性を理解できる。 ・中和、沈殿、気体発生の反応式を書くことができる。 ・陽イオン、陰イオンの系統分析ができる。 	日々の演習 課題 定期考査
～年度末	p 2 0 4 ～ p 2 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・炭化水素 (アルカン・アルケン・アルキン) ・官能基 (アルコール・カルボン酸・エステルなど) ・合成・異性体・構造決定 (分光、反応式) 	<ul style="list-style-type: none"> ・官能基から物質の性質を説明できる。 ・構造異性体の判別と命名ができる。 ・簡単な構造決定問題に取り組むことができる。 	日々の演習 課題 定期考査

教科	理科	科目	理科探究（物理基礎）
年次	3年次・文理	単位数	2
教科書	—		
副教材	チェック&演習 物理基礎（数研出版）		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 ・物理基礎の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 		

期間	教科書 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初（4月） ～ 前期中間考査（6 月中旬）	p2～	<ul style="list-style-type: none"> ・力学分野の総復習 ・力学分野に関する共通テスト対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・力学分野の技能を用いて、問題を解くことができる。問題文を読んで状況を把握することができる。 	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
夏季休業中	共通テスト過去問で実践演習			
～前期期末考査 （9月中旬）	p20～ p38～	<ul style="list-style-type: none"> ・熱分野、波動分野の総復習 ・熱分野、波動分野に関する共通テスト対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・熱分野の知識や技能を用いて、問題を解くことができる。問題文を読んで状況を把握することができる。 	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
～後期中間考査 （11月下旬）	p44～ p56～	<ul style="list-style-type: none"> ・電磁気分野に関する共通テスト対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・電磁気分野の知識や技能を用いて、問題を解くことができる。問題文を読んで状況を把握することができる。 	確認テスト（知） 定期考査（知・思） 授業態度（主）
冬季休業中	共通テスト過去問で実践演習			
～年度末	p74～	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト総まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・物理基礎の全体像を把握し、思考することができる。 	

教科	理科	科目	理科探究（生物基礎）
年次	3年次・文理	単位数	2
教科書	－		
副教材	チェック&演習 生物基礎（数研出版）		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生物基礎に関する知識を定着させる。 ・用語だけでなく、しくみや流れ、グラフ・図の読み取りにも強くなる。 		

期間	副教材 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初～ 前期中間考査	p 4～ p 2 9	・生物の特徴の分野に 関する共通テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞、代謝、遺伝子に関する用語と意味を答えられる。 ・細胞、代謝、遺伝子に関する実験について知識を活用して考察ができる。 	日々の演習 課題 定期考査
～前期末考査	p 3 0～ p 5 1	・恒常性の分野に関する 共通テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・恒常性の分野に関する用語と意味が答えられる。 ・恒常性に関する実験について知識を活用して考察ができる。 	日々の演習 課題 定期考査
～後期中間考査	p 5 2～ p 7 1	・生物の多様性と生態 系の分野に関する共通 テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・植生、生態系に関する用語と意味を答えられる。 ・植生、生態系に関する実験について知識を活用して考察できる。 	日々の演習 課題 定期考査
～年度末	p 7 2～ p 9 5	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手分野の復習 ・実践演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手分野を1つずつ克服する。 ・実験問題を時間内に解くことができる。 	日々の演習 課題 定期考査

教科	理科	科目	理科探究（化学基礎）
年次	3年次・文理	単位数	2
教科書	－		
副教材	チェック&演習 科学基礎（数研出版）		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・化学基礎に関する知識を定着させる。 ・濃度や物質量の計算、グラフ・図の読み取りにも強くなる。 		

期間	副教材 範囲	学習内容	到達目標	評価方法
年度当初～ 前期中間考査	p.2～25	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の構成 ・物質の構成粒子 ・粒子の結合 	原子の特性を理解し、各種結合を理解して化合物を考えることができる。	日々の演習 課題 定期考査
～前期期末考査	p.26～51	<ul style="list-style-type: none"> ・物質量と化学反応式 ・酸と塩基 ・酸化と還元 	物質量と個数、濃度、体積の関係を理解している。酸化と還元の定義を理解し、酸化還元反応式を説明することができる。	日々の演習 課題 定期考査
～後期中間考査	p.52～79	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に関連した化学 ・化学実験の基礎 	化学反応、酸化還元、精錬などの日常で使われている化学について理解している。	日々の演習 課題 定期考査
～年度末	p.80～95	<ul style="list-style-type: none"> ・総合演習 	物質の構成から酸化還元までの知識を活用し、未知の問題に取り組み、解答することができる。	日々の演習 課題 定期考査